

青い波北陽台

学者の休日

校長 山口 千樹

入学式の式辞と始業式の挨拶で、「自分で考えよう、目標を定めて具体的に行動しよう！」という話をしました。このことに関して、私の友人のことを書きます。

彼は現在、「国立極地研究所」の教授です。ホームページを見る限り、国立極地研究所は北極や南極、宇宙や地中のことを研究しています。その中で彼は南極の生物について研究したり学生を指導したりしています。

大学を卒業してから同級生で集まりましたが、彼とは会えませんでした。間話によると、「どうも南極にいらしい」とか「日本に帰ってくるのは来年になるらしい」とか「また南極に行くらしい」ということでした。噂では5回ほど南極に行ったようで、少なくとも5年以上は南極で暮らしていたこととなります。このことだけとっても、彼が根っからの学者であるといえると思います。

その彼の、現在の趣味は「釣り」です。土日になると早朝から車を飛ばし漁港まで行き相模湾で底物を釣るのが、彼の「学者の休日」です。彼は、釣果（釣りの成果）を写真と解説付きでFB（フェイスブック）にアップしています。軽妙な文章と美しい写真で、それを読むのが私の楽しみになっています。読んでいるうちに、「魚釣りというのはつくづく探究学習だなあ。」と思うようになりました。

魚釣りでは、狙う獲物を決定①し、過去の釣果のデータや潮流や風の具合を調べ②、獲物を釣るための仕掛け（道具など）や出かける海域を決定③します。そして釣りを始め④、エサのとられ具合や外道（目的以外の魚のこと）の釣れ具合などから、海の中の様子や魚の状況を推測⑤して、仕掛けを調整したり場所を変えたり⑥します。さらに、今回の釣りを振り返り⑦、次回にむけて闘志を燃やすのです。

上記を「探究学習」としてとらえると、下線を引いた部分は①目標（課題）の設定、②情報の収集、③仮説の設定（計画の立案）、④研究の実施、⑤結果の考察、⑥方法の修正、⑦振り返り、となります。この①～⑦のプロセスを自分で行うことが、私の言うところの「自分で考える」となります。

食事、買い物、勉強、部活動など、皆さんの日常生活のほとんどは、繰り返しが多く、いつの間にか慣れてしまって、考えないようになっていませんか？慣れているからこそ「自分で考える」ことが必要です。「自分で考える」ことをしないと、大きな声の意見や不正確な情報に引きずられて、誤った判断をしたり騙されたりします。「自分で考える」ことは、生きていくうえで大切なスキルなのです。学校生活においても、自分が行っている勉強や練習が、自分の目標を達成するために適しているのかどうかを、「自分で考えて」、修正すべきは修正してほしいと思います。

皆さんが、高校卒業時に大きな魚を釣り上げていることを期待します。



「国立極地研究所」の全景：HPから転載

長崎北陽台高等学校スクールポリシー



1 校訓(建学の理念)

二綱 自学・創造 三領 やさしく・きびしく・たくましく

2 スクール・ミッション

長崎市北部及び西彼杵半島地区に居住する大学進学等を希望する中学生を受け入れ、その進路実現のための学習支援等を行うとともに、活発な部活動や多彩な学校行事を通じて、「知・徳・体」のバランスのとれた人材を育成することにより、長崎県をはじめ世界の持続的な成長・発展に貢献します。

3 グラデュエーション・ポリシー (以下G P : 卒業時に身に付けさせる資質・能力)

変化が激しく予測困難な社会にあって、自ら学びよりよい人生を創造するとともに、長崎県をはじめ世界の持続的な成長・発展に貢献できるように、次に掲げる資質・能力を身に付けさせます。

- (1) 生涯にわたって学び続けるための学力や健康な心身と自ら学ぼうとする意欲等
- (2) 課題を設定し解決するための連携・協働する力やコミュニケーション能力等
- (3) よりよい社会の創造に貢献するための郷土や日本等の伝統・文化への理解等
- (4) 世界の平和と持続的な発展に寄与するための異なる文化や他者を受容する姿勢等

4 アドミッション・ポリシー (入学時に求める資質・能力)

本校に入学する生徒には、次の資質・能力を求めます。

- (1) 本校のG Pを理解して積極的に自分を伸ばしていこうとする意欲と姿勢
- (2) 本校で3年間学ぶための基礎体力と確立された基礎的な生活習慣
- (3) 体力や社会性を向上させる部活動や学校行事等に取り組もうとする意欲と姿勢
- (4) 円滑な学校生活を送るための他者を理解し尊重しようとする意欲と姿勢

5 カリキュラム・ポリシー (活動方針)

次のような方針で教育活動を行います。

- (1) 各教科：G Pに掲げた資質・能力を生徒に身に付けさせるために、計画的な教育活動を行い、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援します。
- (2) 総合的な探究の時間：G Pに掲げた資質・能力を生徒に身に付けさせるために各学科の特性に応じたテーマによる課題研究に取り組みせ、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援します。
- (3) 特別活動：G Pに掲げた資質・能力を生徒に身に付けさせるために、計画的にホームルームや生徒会活動、学校行事に取り組みせ、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援します。

この4月に、新しく本校に着任された先生方の紹介

松添秀喜教頭をはじめ、11名の方が本校に着任されました。
昨年度から在籍する職員も合わせて、これからよろしくお願ひします。



氏名	教科等	前任校等
松添秀喜	教頭・数学	北松西高等学校
朝野美夏	数学	長崎県教育センター
岩本勇太	数学	五島南高等学校
岩崎春	化学	新規採用
山下しおり	国語	新規採用
泉正二	英語	長崎東高等学校
榎田礼子	主任実習助手	西彼杵高等学校
松本和枝	養護助教諭	盲学校
吉田律子	副参事兼主任	長崎図書館
河村美晴	主事	新規採用
境奈緒	事務補助職員	新規採用

令和4年度入学式 ～44回生280名入学～

4月8日（金）本校第44回生の入学式が行われました。今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染対策のため、新入生、教職員、保護者だけの参加とし、短縮した形で行われました。新入生を代表して、西野 日翔さんが宣誓を行いました。

これから3年間、長崎北陽台生として、学習や部活動、学校行事などに一所懸命に取り組み、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。



歓迎遠足・歓迎式 ～晴天の中実施～

4月13日（水）歓迎遠足・歓迎式が実施されました。今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染対策のため、校内で1年生や新転任の先生方の歓迎会を行いました。吹奏楽部や生徒会による歓迎行事のあと、1・2年生は長与町民グラウンドへ、3年生は中尾城公園へ遠足に行きました。ここでは、クラスの友達との昼食やレクリエーションの時間を楽しみました。



普通科総合的な探究・理数科課題研究 校内発表会 ～1年間の研究の成果発表！～

4月27日（水）午前中に3年生による普通科総合的な探究校内発表会が、午後からは理数科（理数科18回生）課題研究校内発表会が本校体育館で行われました。選ばれた発表班はパワーポイントを用いて、日ごろの研究成果を互いの学科や1・2年生の生徒にも理解できるよう工夫を凝らしました。特に、理数科の発表会は6月9日（木）に大村市で行われる県大会出場をかけた校内予選を兼ねており、審査を経て、後日出場する2班が決定されます。

【普通科：総合的な探究の時間発表班】

1. 子供たちのための安全マップ
2. 長崎の「音」を発信して魅力を知ってもらう
3. 充実した就農制度で農家になろう
4. 長与川の汚染状況と水質調査
5. 長与町の特産物を生かす
6. こんなところに絶滅危惧種!!!!～フトヘナタリを後世へ繋ぐ～

【理数科：課題研究発表班】

1. 新しい音律を作る
2. 雑草からエタノールを作る
3. 渋滞論 ～エクセルを用いた渋滞シミュレーション～
4. 真空砲
5. ワタシオグサから藻類が球状になるメリットを探る
6. TOP ～大村湾に橋を架けよう～
7. 2種のヒドロ虫の選択的着生に関する研究
～共生の程度を着生率で判断しても大丈夫？～
8. 使用済み油の有効活用～ボールペンインクを作ろう～



【普通科の発表】



【理数科の発表】

理数科対面式

4月14日(木)理数科対面式が本校体育館で実施されました。これは理数科の1年生と2、3年生が初めて顔合わせを行い、親睦を図りながらも、生徒による3年間の活動内容紹介を通して、1年生に目的意識を持たせることを目的としています。1年生は2、3年生の先輩が紹介する話に熱心に聞き入っていました。最後の理数科20回生として活躍を期待しています。



理数科1年宿泊研修

4月20日(水)～21日(木)理数科1年宿泊研修が国立諫早青少年自然の家で行われました。野外炊飯でカレーを作って自炊した後、フィールドワーク「森林探索」や「探究のプロセスの基礎・実践」の講義・演習を実践しました。

2日目は「仮説についての発表」や「実践活動のためのガイダンス」、レクレーションを行い、課題発見・解決能力を高めるとともに、親睦を深めました。

この研修を通して理数科の一員としての自覚を持つことができたようです。



学年PTA・学級懇談会のご案内 (PTA総会は紙面決議とします)

日 時 5月14日(土) 12:45～受付 13:30～ 学年PTA・学級懇談会
ご多用中とは存じますが、ご出席よろしくお願ひします。(詳しくは、後日Classiで配信いたします。)

5月の主な行事予定

2日(月) PTA委員会・常任委員会	19日(木) 答案採点日・生徒自学(2・3年)
9日(月) 1学期中間試験時間割発表(2・3年)	平常授業(1年)、生徒総会
10日(火) 尿検査(2次)	高総体前短縮授業(~6月2日(木))
11日(水) 耳鼻科検診(1年)	20日(金) 尿検査(2次)
12日(木) 防災避難訓練	23日(月) 3年内科検診
13日(金) 代休(5月14日(土)分)	24日(火) 2年内科検診・教育実習開始
14日(土) 金曜の①～③授業	31日(火) 1年内科検診
午後 学年PTA・学級懇談会	
16日(月)～18日(水) 1学期中間試験(2・3年)	
平常授業(1年)	

「Be the Change」

1 学年主任 川崎 健太

4 4 回生のみなさん、4 月が終わろうとしています。長崎北陽台高校での生活はいかがですか。まだ慣れないことも多く、環境の変化に苦労している人もいますが、大丈夫です。まずはしっかりと健康管理を行い、高校での生活スタイルを確立してください。

さて、みなさんには入学直後の導入期指導の際、学年スローガンを紹介しました。タイトルにもあるように 4 4 回生のスローガンは「Be the Change」です。これには、次のような思いを込めています。

- ・自分自身の考えや行動をよりよい方向へ変化させてほしい。
- ・自分の考えや行動により、周囲に良い影響を与え、集団を変化させてほしい。
- ・変化の激しい予測不可能な時代を生きてくために必要な資質、能力を身につけてほしい。

長崎北陽台高校はこれまでの先輩方が築き上げてきたすばらしい伝統があります。長崎北陽台の^{よさ}伝統を継承しつつ、時代に応じた、新たな伝統をみなさんの手で築き上げてほしいと思います。学校では、今年度から校則の見直しやスマートフォンの持ち込みをはじめ、様々な改善が行われています。みなさん自身でよく考え、受け身にならず、充実した生活を送れるよう努力していきましょう。

【お知らせ】

○「学習のビジョン」について

廊下に「学習のビジョン」が掲示されているのを見かけたでしょうか。同様なものを Classi でも配信しています。これは、みなさんが、先を見据えて、計画的に学習に励めるようにとの思いで、各教科の先生方にお願ひし、作成していただいたものです。6 月末の期末試験へ向けての取り組むべきことやすべての教科の学習内容が一覧となっていますので、参考にしてください。

○休日の過ごし方について

1 学期は、5 月のゴールデンウィーク期間や 6 月の高総体期間など授業がない日が多くあります。これらの期間にみなさんにぜひ実践してほしいことを以下に挙げていますので取り組んでほしいと思います。

- ・普段できない、家の手伝いや家族のお世話などを行うこと。
- ・大学等のホームページを閲覧し、進路先について研究すること。
※興味がある大学のホームページでアドミッションポリシーを調べてみましょう。
- ・朝起きて、朝食を食べること。健康に留意すること。
- ・学習をしない日をつくらず、計画的に学習を行うこと。
※Classi に学習時間を入力し、自己管理に努めよう。

「長崎北陽台の顔」

2 学年主任 大小瀬 格二

2 学年がスタートしました。学校生活に慣れるのに必死でバタバタしていた昨年のことを思い出すと、成長した自分を実感できている人も多いのではないのでしょうか。

さて、ついこの間まで1年生だった君たちですが、多くの運動部では6月の高総体を機に3年生が引退し、君たちが最上級生となります。新人戦や練習試合など対外試合の機会も多いことでしょう。また、総合的な探究の時間では、地域の方々や大学の先生方にお世話になるなど、校外での活動が多くなります。さらに、高校生活の一大イベント修学旅行も控えています。これら君たちの様々な場面における校外での立ち振る舞いが、現在の長崎北陽台の様子を世間に知らしめることとなります。つまり、今年度中に君たちは「長崎北陽台の顔」となるのです。

「長崎北陽台の顔」になる準備はできていますか？今のうちに3年生からいろいろなことを吸収しておきましょう。

また、昨年の2年生（現3年生）がそうであったように「1年生を教え導く」、という重要な役割もあります。私について来い、私と同じようにすれば大丈夫、と胸を張って言える、頼りがいのある先輩になってください。

いろいろと重要な役割があり、間違っても「中だるみの2学年」になっている暇は無さそうです。先生方も全力で君たちをサポートしますので、全力でスタートダッシュを切ってください。

「最高学年として」

3 学年主任 下村 かおり

4 2 回生も、いよいよ最高学年になりました。成年年齢が18歳となり、また生徒心得も変更されて、学校内・外での生活において長崎北陽台生としての自覚がより求められる1年になります。また、この1年で経験する高総体や体育大会といった行事は全て、「高校最後」のものとなっていきます。一つひとつの行事に真剣に取り組み、良い思い出をたくさん作ってください。切磋琢磨した友人たちは一生の財産になります。将来も様々な場面で関わり合うことのできる、素敵な長崎北陽台ネットワークを築いてほしいと思います。

今年度の最大の目標が進路実現であることは言うまでもありません。「共通テストまであと〇〇日」という言葉もクラスで見かけますが、まずは年間計画を立てて、自分がすべきことを明確にしましょう。そして自分で満足のいくまでとことんやってください。安易に目標を下げてはいけません。目標に到達したいという熱い思いが、夢実現への原動力になります。

先日の学年集会で3学年団の先生方から話がありましたが、この1年、私たちも最大限の支援をする覚悟です。何か不安なことがあれば是非相談してください。一緒に乗り越え、意義ある1年にしていきたいと思います。